

テーマ：『 子どもの日常に根ざす環境教育 』

平塚市立 豊田小学校

Tel. 0463-31-1522 担当者： 小室 喜雄



給食残渣を EM で堆肥に



EM バケツがいっぱいになったら、土作りの場所へ



そばを育てるための畑作り



パンジーを種から育てよう（職員）

■実践内容：

1. 各学級共通のとりくみとして「EM を活用した給食残渣を堆肥に」
2. 学級による選択メニューとして「地域の方に教わりながら、そばの栽培とそば打ち体験」
3. 全校特別メニューとして「パンジーを種から育てて、卒業式・運動会を飾ろう」

■実践成果：

1. 「EM を活用した給食残渣を堆肥に」では、各クラスで毎日の給食で出る果物の皮や魚の皮、食べ残しを自分たちで EM ぼかしをふりかけ堆肥にし、野菜などの栽培に活かしている。昨年度は子ども達が総合的な学習の中で「EM」を取り上げ、EM が環境にどうして良いのかを調べ学習発表会などで保護者や地域の方へ紹介をしている。
2. 「地域の方に教わりながら、そばの栽培とそば打ち体験」では、畑の開墾、そばの栽培、石臼による粉ひき、そしてそば打ちを地域の方に教わりながら学習を進めている。この中で子ども達が「そばは昔の人にとって、食料不足をなくすためになくてはならないものだったんだ。」と気づいた。
3. 「パンジーを種から育てて、卒業式・運動会を飾ろう」では、職員が種まき・芽だしを行い、子ども達が小さい株からパンジーを育てている。昨年度は 200 個のプランターで約 600 株、今年度もほぼ同数のパンジーの栽培を進めている。子ども達からも「こんなに小さい種が、みんなで毎日世話をする中で大きく、そして長く花を咲かせてくれるんだ。」という感想が出てきている。

■実践ポイント：

- 「毎日の生活の中で、楽しみながらみんなでとりくむ。」を大切にして実践をしてきた。
- 地域の方に協力していただき、その方の体験や思いを子ども達が感じ取れるようにしてきた。
- 「子ども達と一緒に職員もとりくむ」その姿勢を大切にしてきた。